



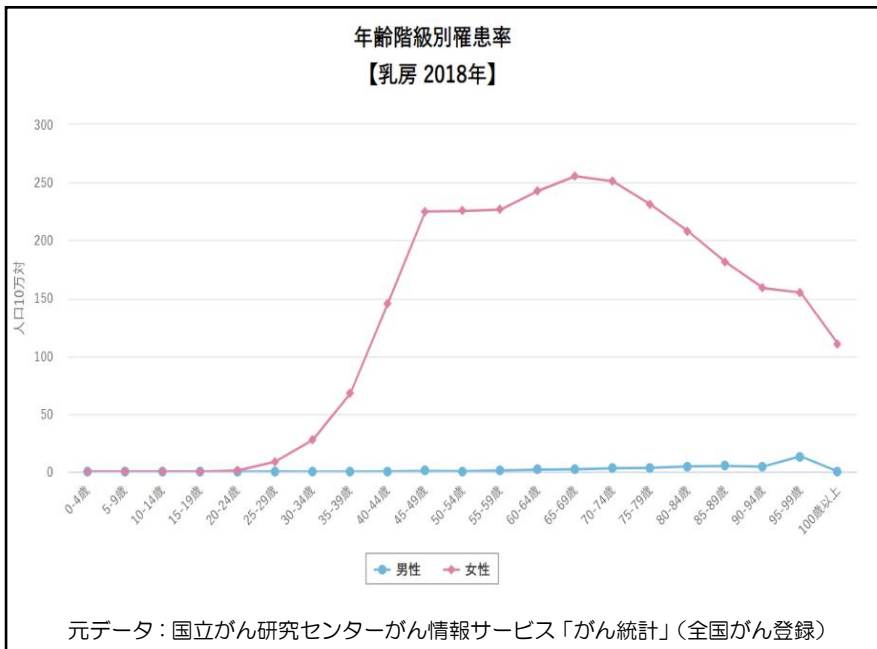
第19回ももはな会



- 日時：2022年4月23日（土）14:00~15:00
- 講演：乳がん検診の今とこれから
- 講師：横溝 十誠先生（川上診療所 院長）

〔講演内容〕＊一部抜粋

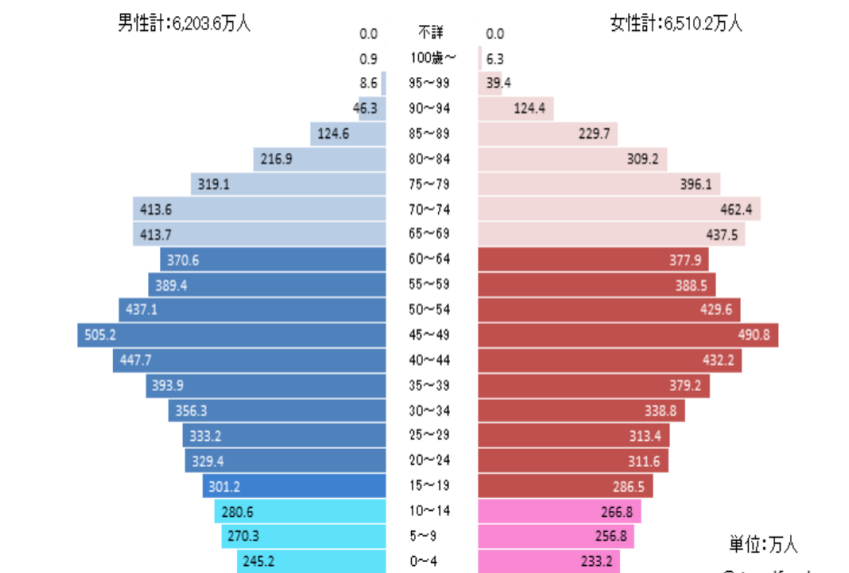
- 乳がんの現状とこれから
- 乳がん検診の現状
- エビデンス、利益と不利益、リキッドバイオプシー
- これからの検診



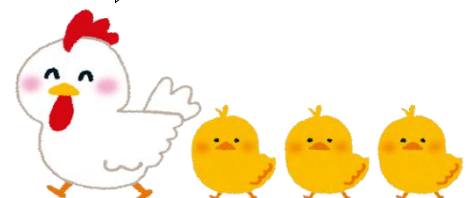
60歳台後半に
乳がん罹患が
ピークを迎えている
ことがわかるね



日本の2020年1月1日の人口構成（住民基本台帳ベース、総人口）



幅広い年齢層に
対応できる診療の
体制がもてめられ
ているんだね



（2022年4月23日に利用）

乳がん検診の利益と不利益

利益

早期発見による死亡率減少、治療上の QOL 向上（乳房温存、腋窩郭清省略、抗がん剤治療の回避など）、治療費抑制

不利益

時間的・経済的負担

放射線被ばく

疼痛

精神的影響・不安

偽陽性（精密検査、追加画像診断、細胞診、生検）

偽陰性

過剰診断



乳がん検診の利益と
不利益を正しく理解
して、受診すること
が大切なんだね



リキッドバイオプシー

血液、尿、唾液、脳脊髄液、心嚢液、胸水、腹水、便などの体液サンプルを用いてゲノム解析を行う検査

リキッドバイオプシーの特徴

- ・ 低侵襲性で、複数回検体が得られる
- ・ 原発巣に限らず、転移巣についても検査可能
- ・ 質的变化をリアルタイムに検出できる



がんの超早期発見や
無駄の無い適切な治
療につながるものが
期待されるね

